

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フッタ博士のくわくわくドット対話ててくら

国立市立国立第七小学校

平成29年12月25日 NO.82(482)

モンタ博士「さあ、いよいよ冬休みだね。安全第一、元気に新年を迎えてほしいね。」

フッタ博士「はい、そこでみなさんに『冬休みの自由研究』をおすすめします！」

オー君 「えっ！夏休みの宿題だって大変だったのに、冬もですか…。」

花ちゃん 「あら、モンタ博士と『いつでも不思議だと思えることを調べてみよう』って話しているじゃない。宿題じゃなくても自分から進んで研究するのよ。」

モンタ博士「さすが花ちゃん。寒い冬、この時期ならではのテーマがあるんだよ。」(いろいろな参考資料を見せながら)

フッタ博士「たとえば、毎日コツコツタイプの人には、『朝の冷え込み具合(最低気温)と天気や霜の降り方』の関係調べはどうか。」

オー君 「そういえば、七小近くの畑には霜が降りる日とそうでない日があります。」

花ちゃん 「『霜柱のできかた』なんていうのもおもしろそうだね。」

モンタ博士「そうだね。入れ物に砂・黒土・赤土などをそれぞれ入れて、でき方を比べるといいね。乾いた土と湿らせた土ではどうだろうか。」

オー君 「なるほど！シモバシラという植物もありましたよね。立川の昭和記念公園で見られるって新聞記事にありました。」

フッタ博士「冬は夜が長く、東京はよく晴れることが多いから天体観測もいいね。双眼鏡や望遠鏡がなくても、肉眼で十分楽しめるよ。」

花ちゃん 「オリオン座などの星座見つけて『冬の大三角探し』はどう？」

モンタ博士「夜だからくれぐれも安全な所で、大人と一緒にね。『しぶんぎ座*流星群』という流れ星



のイベントもあるよ。一番多く流れる極大日の予想は1月4日の午前零時から明け方、東の空を見てみよう。」（*現在りゅう座の一部）

オー君 「よし！流れ星に願い事を3回言えるように早口の練習しようっと！でも、「今回は満月の直後で空が明るく悪い条件」だって。」

フッタ博士「はいはい。満月ということは、海の潮が大きく満ち引きする“大潮”ですね。」

花ちゃん 「寒いのに海!?海といえば夏でしょう？」

フッタ博士「そうだね。でも磯の観察には“昼間大きく潮が引く冬がいい”という

人もいる。たとえば1月1日、神奈川県の江ノ島では午前10時20分の引き潮で95cm下がり、2回目の夜10時51分は5cmなんだ。」

オー君 「なぜ夏と冬で潮の引き方が違うのか、インターネットで調べてみようかな。」

モンタ博士「冬は貝殻拾いにもいいらしいから、また出かけてきます。ほかにも冬ならではの生き物探しもありますよ。」

花ちゃん 「私、スキーに行ったら『アニマルトラッキング』（雪上の動物の足跡）探しをしてみたいな。」

オー君 「ぼくはオサムシを掘り出す『オサ掘り』、冬眠中の昆虫を朽ち木の中から探してみます。」

フッタ博士「昆虫マニアには『フユシャク探し』もおすすめ。尺取り虫の仲間で、メスの羽根が退化した蛾がこの季節に出て来ます。こうしてみると、冬ならではの自由研究もいろいろできそうでしょう。」

モンタ博士「それではみなさん良いお年を！」

